自己評価および外部評価結果

自	外	項目	自己評価	外部評価	西
己	部	項 目 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.∄	里念に	こ基づ〈運営			
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	地域に根ざした施設となれるよう、町内会への参加や運営推進会議にて決めた理念「みんな一緒になって話し合って気楽に暮らしていけるのが一番いいね」を職員が見やすい位置に掲示し振り返る機会を設けている。	理念を各ユニットに掲示し共有している。昨年4月 現在の管理者が着任し、理念を実現するための運 営方針を職員と話し合い新たに作った。地域との 交流・利用者や家族の考えている暮らしの実現な ど理念を具体化し実践につなげている。	
2	(2)	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	毎日のゴミ捨てや回覧板の配布の際の立ち話や 地域の文化祭等の行事に参加させていただき交 流を図っている。運営推進会議において町内会 長様にもご参加いただいている。	広報を回覧板で回してもらったり、清掃活動への参加・散歩やゴミ捨ての際近所の人とあいさつを交わすなど日常的に交流している。野菜やレコード・本など持ってきて〈れる方もいる。保育園児の訪問や中学生の職業体験・傾聴ボランティアなどの受け入れ、小学校の芸能祭りに見学に行〈など地域との関わりを大切にしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	毎月発行している広報誌を回覧板に載せていただいている。グループホームの案内や介護認定の仕組みなど地域の皆様に見ていただける機会を設けている。運営推進会議内で町内会長との話し合いの場を設け協議している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている		介護相談員・包括職員・他事業所管理者・自治会長・家族・利用者などが参加して2ヶ月に1回開催し、活動状況を報告している。 地域交流を課題に挙げ、お茶の間を紹介してもらったり、今後予定しているイベントについて地域の方に多く参加してもらうためどうしたら良いかなど意見をもらっている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築〈ように取り組んでいる	毎月介護相談員の訪問があり必要な時に相談を行っている。また、区の高齢介護課や保護課、市の高齢介護課と連絡を取り合っている。グループホームで事故が起こった時の報告書、運営推進会議の内容をまとめた議事録を郵送にて報告している。	毎月介護相談員が訪問し、現状を把握してもらっている。市の保護課職員が定期的に調査に訪れ情報を共有している。市の研修に参加したり、元気力アップサポーター制度に登録を予定している。研修の申し込みは市役所に持っていき、市職員と直接関わるなど協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正し〈理解して おり、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケア に取り組んでいる	マニュアルを整備し、年に一度は必ず研修の機会を設け、身体拘束が行われないようケア方法や環境について振り返りを行っている。	は一緒に目毛に行くなと自田を抑制しないよう取り組んでいる。見守りが手薄になる時間帯はやむを得ず施錠が必要となっている。施錠による弊害や他の利用者への影響も理解したとで解究への話し合いを繰り返してい	マニュアルをもとに勉強会を実施し身体拘束について全職員が定期的に振り返る機会を持つことで、利用者の人権を守ることがケアの基本であるという認識に立ち、自由な暮らしを支援するための取り組みに期待したい。
7	(5-2)	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につい て学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で の虐待が見過ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	身体拘束をしないケアと同様にマニュアルを整備 し、年に一度は必ず研修の機会を設け、身体拘 束が行われないよう振り返りを行っている。	個別のケアカンファレンスで虐待にあたるものは無かったか話し合い確認している。対応の困難な方の症状の原因をひも解き、情報を共有することで職員の介護負担を軽減している。管理者は職員と何でも話し合える関係でありストレス軽減に努めている。	

					<u> </u>
自己	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
二	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	や入居者関係者様と共に学んでいく必要がある		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約の内容についてはご利用者様のご自宅にお 伺いした時や、グループホームへの見学対応の 機会の中でご利用者様、ご家族様からの質問に 対する返答や、グループホームの説明をさせてい ただき十分ご理解いただいた上で行っている。		
10	(6)	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にて意見交換を行いご利用者様、 ご利用者ご家族様の意見や要望が外部者へ表 せる機会を設けている。また、家族会、ご家族様 参加型の行事、面会時に話し合いの場を設けて いる。	年1回の家族会には半数以上の方の参加があり、アンケートも実施している。また日常的に連絡を取り合い意見を聞いている。職員の異動や行事の開催時期について質問や意見をもらい運営に反映させている。職員は意見を出してもらいやすいよう家族との関係づくりに努めている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞〈機会を設け、反映させている	毎月の職員会議、ユニット会議、各係りの会議の際に職員に意見を求めている。また年に2回職員との面談の機会をを設けている。職員の意見や提案を聞〈機会を通して運営に反映できるよう努めている。	職員会議、ユニット会議 レク・環境・給食各係の会議にはなるべく管理者が出席し意見を聞いている。また個別に年2回の面談を行っている。各係の提案や休憩時間の設定・買い物についてなど意見をもらい運営に活かしている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	運営者の定期的な訪問と職員会議の参加と指導に合わせ、資格手当、キャリアパスの制度、内部、外部研修への推進等職員の向上心に対して肯定的である。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	職員のキャリアに合わせ研修を設定し数日間の 研修の機会を設けている。また、個々の職員が 年間を通した目標を設定し、日々働〈中で育成で きるよう努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい 〈取り組みをしている	近所にあるグループホームの管理者や職員と運営推進会議の場や相互訪問等で交流の機会を持っている。互いに意見交換を行いながらサービスの質の向上につなげている。		

白	外		自己評価	外部評価	<u>ユニット:Bユニット</u> 而
自己	部	項目	実践状況	実践状況	
	לינול	:信頼に向けた関係づくりと支援		7 CP14 (1/10)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	契約の事前面接の際に、ご利用者様とご家族様からこれまでの生活状況や様態、生活歴、現在の状況を伺い、利用に係わる希望を把握し支援に臨めるよう努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	電話での問い合わせ、見学に来られた際、事前面接の際に、グループホームの設備や環境、ご利用者様、ご家族様への対応をどのように職員が心掛けているかご家族様に時間をかけてお話できるよう努めている。またご利用前に体験利用の提供等ご家族様が安心できるような雰囲気作りに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	緊急を要する場合や相談をしている中で、必要としているサービスが異なる場合でも、他事業所の紹介や説明等の支援を適切に行い、ご利用者様とご家族様の負担軽減に努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理や掃除をはじめご利用者様一人一人にお手 伝いを協力していただいています。共に支え合う 関係でありたいと思いながら支援を行っている。		
19	(7-2)	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご利用者様とご家族様、職員が常に協同しながらご利用者様を支えていくことを第一に考えている。何事もご家族様に相談しながらご利用者様とご家族様の関係の継続が図れるよう十分に留意している。	毎月手紙に行事紹介の写真を同封し、利用者の表情などからホームでの様子を知ってもらえるよう努めている。また家族に電話したいなど利用者の要望に応じ援助している。家族参加型の行事に招いたり、家族に外食や外出に連れて行ってもらうなど関係が継続できるよう支援している。	
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関係を継続できるようご家族様には入居前から 面会や外出がいつでも可能であることを伝えている。実際にご家族様、友人、知人の面会もある。 今後は個別に馴染みの場所を訪問する機会をご 利用者様の希望を伺いながら設けていきたい。	入居前の情報を利用者や家族より聞き取り 把握している。知人や友人が面会に来て〈れたり、家族の協力で美容院や墓参り・白山神 社など馴染みの場所に行〈など関係が途切れないよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	ご利用者様同士の関係を把握し、職員が情報を 共有している。席次の配慮やご利用者様同士の 悩みをお聞きしながら関係の調整役となるよう支 援している。またご利用者様同士が支え合う場面 も多く見られている。		

					<u>ユニット∶Bユニット</u>
自	外	75 D	自己評価	外部評価	т
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院され利用終了になられたご利用者様がおられたが、その後も不定期ではあるが入院先の病院へ見舞いに何っている。またご家族様と話をする機会を設けている。	A DAY WITH	7,007,001E1317 EX31307EV11312
	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	<u> </u>		
	(9)			契約時の聴き取りのほか、入居後も日々会話する機会を多く持ちコミュニケーションを図り、希望・意向の把握に努めている。 言葉の少ない方など、会話での把握が困難な方には、なごむように工夫して声掛けしたり、表情から推測している。 把握した情報は介護記録に記録し、申し送り等で職員間で共有している。	
24	(9-2)	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている		入居前に本人・家族から生活歴や馴染みの暮らし方、これまでの介護サービス利用の経過等を情報収集し把握している。現在、複数のアセスメント書式を用いているが、管理者の異動を機にアセスメント方式の見直しを行い、センター方式の書式に統一しあらためてアセスメントを行い、利用者をより深く知るための取り組みをおこなっている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	ご利用者様個々の生活ペースを把握し、職員間で情報共有を図りながら、できることはできるだけ行っていただけるよう支援している。		
26	(10)	本人がより良〈暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、	毎月行うユニット会議においてモニタリングを行っている。ご利用者様に状態の変化がみられた場合はその都度カンファレンスを行い、ご利用者様、ご家族様、医師等の関係者の意見を反映し、現状に即した介護計画をチームで作り上げるよう努めている。	職員目線ではなく、利用者・家族がより良く暮らしていけることを第一に考え、介護計画を作成している。毎月の会議で全利用者に対するモニタリングを行い、課題やケア方法について全職員で話し合っている。状態変化時や利用者・家族の新たな希望等があった場合はその都度、カンファレンスを行い、介護計画の見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の内容は、介護記録、受診記録、家族連絡記録、健康記録とに分け、各種記録を一冊にまとめることにより、職員が情報を取り入れやすいようにしている。。また、それら特記事項をまとめた申し送り簿を用意し、職員間の情報共有を図っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への受診に際して、職員、またご家族 様の都合に合わせ協力を得て行っている。内科、 整形外科、皮膚科の往診、看護師を職員として 配置することにより健康管理において柔軟な対応 ができている。		

白	外		自己評価	外部評価	<u>ユニット:Bユニット</u> 而
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月傾聴ボランティアの方々が来て〈ださり、ご利用者 様毎の思いに耳を傾けて〈ださる時間を提供していた だいている。運営推進会議にて自治会長様や参加い ただいた方々より地域の情報提供をいただき、月一回 の地域の茶話会に参加させていただいている。		
30	(11)	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	るようできるだけ同じ医院に受診していただいて	本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。家族同行での受診の際には必要な情報を文書にして渡したり、必要時には職員も付き添い、適切な医療が受けられるよう支援している。受診に関する情報は受診記録に記録し、共有している。また、認知症専門医の往診も行われており、往診時には医師からアドバイスを頂いたり情報交換等で話し合うようにし、関係構築に努めている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	看護師を職員として配置していることから、日常の気づきを口頭や看護ノートに記載し、ご利用者様の健康状態、処置や受診に関して相談が出来ており連携が図れている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めている。あるいは、 そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。	病院の医師や相談員との情報交換やカンファレンスを通して早期退院に向けた連携を図っている。職員も情報提供や定期的にご利用者様の面会に伺い、安心していただけるよう配慮している。		
33	(12)	重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでい る	があった時に終末期のあり方について意向を確認させていただいている。 ご本人様、 ご家族様、	重度化した場合や看取りの対応指針があり、契約の際にホームの方針や対応しうる範囲等を説明し、意向等を伺いながら話し合いを行ない、同意を得ている。また、入居後も重度化に備え早期から家族・かかりつけ医・看護師など関係者と話し合い方針を決定・共有し、家族の不安軽減に努めながら支援に取り組んでいる。	
34	(12-2)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	ニュマルに近い対応を行っている 中郊町校士	緊急時対応マニュアルが整備されており、マニュアルを基に研修会・勉強会を定期的に実施し、応急手当等について学んでいる。また、健康管理で毎週来所する看護師に利用者の状態について相談し、既往症や現在の症状を踏まえたその人に会った対処方法の指導を受け、急変時等に備えている。	
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけると ともに、地域との協力体制を築いている	消防署立会の下に避難訓練を行い、消火器の使い方や避難方法の訓練を行っている。自治会で配布された水害時の避難地図を廊下に貼っている。火災に限らず、震災や水害など災害全般に関する消防マニュアルや防災用品を整備し、非常事態に備えている。	されているほか、地域のハザードマップを廊下に掲示し	地域の人々への災害時の協力依頼が行われていない。職員だけでの誘導の限界を踏まえて、地域の人々の協力が実際に得られるように、日頃から話し合いを行い、一緒に訓練を行うなど実践的な取り組みを行うことが望まれる。

_	41		克 □ 顿伍	Al	<u> </u>
自己	外	項目	自己評価	外部評値	
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	その	人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
	(14)		ご利用者様の生活歴や性格等を考慮しご利用者 様毎に適した言葉掛けができるよう配慮してい る。会議を中心として職員で話し合いの場を設け 対応している。	法人主催の接遇研修に参加し、適切な声かけや丁寧な言葉づかい、挨拶等について学んでいる。利用者へは年長者として敬意を払いつつ、その人一人ひとりに合った言葉かけや対応をしている。個人記録の記載は利用者や外部の人の目に触れないように気をつけて行ったり、カンファレンスは利用者に聞こえないように行い、プライバシーへの配慮を徹底している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	ご利用者様の判断能力や意思表示方法に応じて、表情や身振り等を取り入れて個々に働きかけている。飲み物の選択、食べたい物、外出等、日常生活全般においてご利用者様と共に希望を伺いながら生活できるよう支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の一日のペースやその日の機能や体調等に沿って、食事や入浴、買い物、休息等の支援を柔軟に行っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	ご利用者様より希望を伺った時や職員と共に買い物に出かけた際身だしなみやおしゃれに必要な品物をご覧いただいたり購入していただいている。更衣時においてもご利用者様本位に衣類を選択していただいている。		
40	(15)	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から後片付けを個々の能力に合わせて職員と共に行っている。献立にはバランスが取れ季節感を感じられる食材の選択や、ご利用者様の食べたいものをお伺いし買い物へも職員と一緒に行っていいる。	献立は給食係の職員が利用者の好みや栄養バランスを考慮し、畑で利用者と一緒に育てた作物など旬の野菜を採り入れて季節感を出すよう配慮しながら立てている。食事に関する一連の作業は、一人ひとりに出来ることを手伝ってもらい、職員も一緒に食卓を囲み、食事が楽りい時間となるよう支援している。また、外食や、利用者の希望を聞いてピザやハンバーガー、すしなどのファストフードを購入し、利用者に喜ばれている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	食事摂取量は個々に記録、水分摂取料は大まかではあるが把握し、一日5回程水分補給を行っていただけるよう促し、その他は希望時にお茶等を飲んでいただいている。栄養バランスについては、法人内の給食担当者やグループホーム事業所同士で会議を行い、栄養士の指導を反映させている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	毎食後口腔ケアを促しており、夜間は義歯洗浄を実施している。ご自分で行うことが難しいご利用者様に対しては支援を行っている。自立されている方も含め定期的に口腔内の状態を確認している。		

_					<u> </u>
自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	以 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の状態に応じて排泄チェック表を用意し、排泄リズムを把握することによって、トイレ誘導や声掛けを行っている。また、尿取りパットの交換等は、ご利用者様の羞恥心に配慮しさりげなく支援している。	へく矢敗かないよう声をかけ誘導している。紙ハン	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	排泄チェック表を活用してご利用者様の排便状況を確認している。水分補給(お茶や寒天)と野菜を多く取り入れた食事を提供している。また毎日体操を行う事で予防に努めている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	職員の人員体制が厚い午前中の入浴が主ではあるが、ご利用者様の希望された場合午後や夕方に入られる事もある。ご利用者様の体調や希望に沿う事が出来るよう体制を整えている。お一人お一人が〈つろいで入浴される事を考えている。	一日おきで午前中の入浴を基本としている。以前は毎日の入浴を基本としていたが、看護師の健康面に配慮した提案により現在は隔日の入浴としている。希望があれば毎日でも入浴可能である。時間帯も希望があれば、午後や夕方でも入浴できる。入浴中は職員と一対一になれ、普段言えないことも話せる良い機会となっている。また、ゆず湯やしょうぶ湯なども行い、利用者に喜ばれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよ〈眠れるよう支 援している	ご利用者様毎の体調に合わせていつでも休息が とれる環境を整えている。 夜間に眠られない場合 にも飲み物を提供したり、 職員とゆっくりと話をし て過ごす等、 安心できる環境作りを心掛けてい る。		
47		法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録ファイルの中に薬の説明書を保管しい つでも確認出来る様にしている。グループホーム の看護師と連携し、服薬の支援と症状の変化の 把握に努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様、ご家族様より伺っているお一人お一人の生活歴や趣味、得意な事を活かした場を提供している。定期的な買い物や外食、その日の天候に合わせ散歩を行い気分転換に繋がるような支援に努めている。		
49	(18)	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、木人の希望を押握し、家族	職員の人員配置の状況等によりすべて対応できてはいないが、ご利用者様の希望に沿い外出支援の対応を行っている。普段は行けないような場所へは行事として計画やご家族様に協力をお願いし支援に努めている。	食材の買い出しや近隣の散歩などは日常的に行われており、利用者の希望によっても臨機応変に出かけている。同法人のデイサービスで開催される運動会や敬老会などの行事にも積極的に参加している。また、季節に応じてイチゴ狩りやブドウ狩り、花見などの外出行事を行い、利用者が楽しめる外出の機会をつくっている。	

					ユーッド・ロユーッド
自己	外	項 目	自己評価	外部評価	T
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様が買いたい物がある時は職員と一緒 に買い物に出かけ、できる人には会計をしていた だいている。お金の保管は金庫を利用し、希望に 応じて出納帳の確認をしていただいている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の申し出があればいつでも電話をかけていただ〈支援を行っている。また、毎月手紙をやり取りされているご利用者様も居られる。年末には思い思いの年賀状を作成して大切な人とのやり取りができるように支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は日付が分かるように手作りのカレンダーを設置している。共用空間やご利用者様の居室の扉にはご利用者様と相談しながら季節に応じて装飾を行い居心地良く過ごしていただけるよう配慮している。	居間・食堂は広くてゆったりとしており、利用者の居心地に配慮してテーブルやソファーが配置されている。玄関等には多数の行事時や日常の写真が飾られており、来訪者にも喜ばれている。また、環境係りの職員が中心となり、季節感のある利用者の作品や花、装飾物等を展示し、利用者が季節を感じながら落ち着いて過ごせる空間作りがなされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共用空間にはベンチやソファーを用意し、思い思いのペースで過ごせる環境作りに努めている。また、食事時等特定の場所で集まる場合もご利用者様と相談しながらご希望を考慮した席次となるよう配慮している。		
54	(20)	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	と相談の上持参していただき、希望に沿った居室 となるように配慮している。ご利用者様に希望の 物があればご家族様に相談しながら購入してい る。	物などか直かれたり、家族の与真や折り紙寺の作品を飾り、それぞれの利用者が居心地良く過ごせるような環境づくりをしている。居室の入口は利用者と相談して決めた折り紙などで装飾し、部屋に愛着を持ってもらえるような工夫も行っている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	建物内部の各所に手すりを設置している。広い共用空間と長い廊下を行き来されることで事前に歩行訓練が可能な環境となっている。個々の能力に合わせてシルバーカーを使用したり、安全な移動が可能なよう机やソファーの位置にも配慮している。		

項目	取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印		項目	取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印
	1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求	1. ほぼ全ての家族と
職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 ├ 6 を掴んでいる	2. 利用者の2/3(らいの	63	めていることをよく聴いており、信頼関係ができ	2. 家族の2/3〈らいと
(参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3(らいの	03	7116	3. 家族の1/3(らいと
(2 3 XX :===,==;,===)	4. ほとんど掴んでいない		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19) 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	4. ほとんどできていない
	1. 毎日ある			1. ほぼ毎日のように
利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある	2. 数日に1回程度ある	64		2. 数日に1回程度
(参考項目:18,38)	3. たまにある	04		3. たまに
(> 578H (10,00)	4. ほとんどない		(> J-AH (4,40)	4. ほとんどない
	1. ほぼ全ての利用者が 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係	1. 大いに増えている	
利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	2. 利用者の2/3(らいが	G.E.	65 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている	2. 少しずつ増えている
(参考項目:38)	3. 利用者の1/3(らいが	03		3. あまり増えていない
	4. ほとんどいない		(参考項目:4)	4. 全(いない
	1. ほぼ全ての利用者が		 。 職員は、活き活きと働けている	1. ほぼ全ての職員が
利用者は、職員が支援することで生き生きした表した表した。	2. 利用者の2/3(らいが	66		2. 職員の2/3(らいが
情や姿がみられている (参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3(らいが	00	(参考項目:11,12)	3. 職員の1/3(らいが
(\$ 5250.00,07)	4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
	1. ほぼ全ての利用者が			1. ほぼ全ての利用者が
利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3(らいが	67		2. 利用者の2/3(らいが
(参考項目:49)	3. 利用者の1/3(らいが	107	たしていると思う	3. 利用者の1/3(らいが
	4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
	1. ほぼ全ての利用者が			1. ほぼ全ての家族等が
利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	2. 利用者の2/3(らいが	60		2. 家族等の2/3(らいが
〈過ごせている	3. 利用者の1/3(らいが	80	のりね何たし(いると思う	3. 家族等の1/3〈らいが
(> 3** H · 00,01)	4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
	1. ほぼ全ての利用者が			,
利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	2. 利用者の2/3(らいが			
な支援により、安心して暮らせている ― (参考項目:28) ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	3. 利用者の1/3(らいが			
	4. ほとんどいない			

3. 利用者の1/3(らいが 4. ほとんどいない